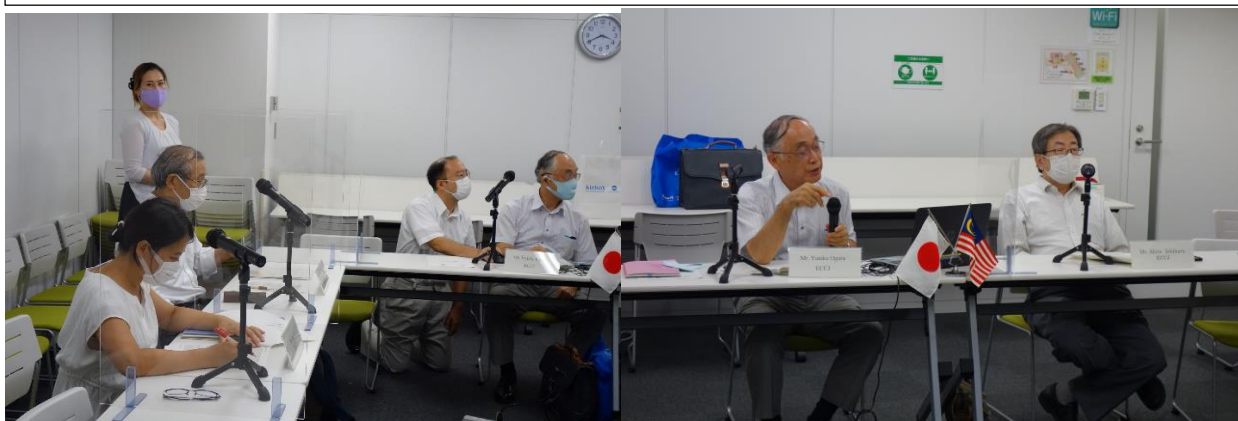


マレーシアと省エネ支援に関する第3回オンライン会議を開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、経済産業省の委託を受けてマレーシアへの二国間省エネ協力事業を今年度展開しています。コロナの関係で当面現地派遣は困難であることより、これまで2回のオンライン会議にて今年度の支援事業を協議してきましたが、今年度の支援活動のメインとなるオンライン研修の内容を中心に、2020年9月11日にマレーシアのカウンターパートであるエネルギー天然資源省他とオンライン会議を開催しました。



1. オンライン研修：

マレーシア側参加者：エネルギー天然資源省2名、持続可能エネルギー開発機構2名、エネルギー委員会1名

日本側参加者（ECCJ国際協力本部）：8名（含む東海支部1名）

事前に送付していたマレーシアとのオンライン研修【BECMY7】のアウトラインに沿って、記述内容を逐次確認し了解を得ました。主要確認・合意事項を以下に示します。

- (1) 研修日時：2020年12月2-3日、9-10日の計4日間。各日、午前午後とも各2時間
- (2) 研修方法：オンライン
- (3) 研修対象者：エネルギー管理士研修での熱分野予定講師及び政策担当者
- (4) 研修対象者数：10-15名。さらに多くの対象者が必要となれば別途第2弾の研修も検討する。
- (5) 講義プログラム：熱講義を中心に一部エネルギー管理と熱関連省エネ診断講義も含む

2. モデルプロジェクトのセミナー：

熱エネルギーも含めたエネルギー管理システムの構築支援を意図したモデルプロジェクトの展開は、今年度はコロナの影響で現地訪問等の実施は困難としていましたが、この趣旨に賛同する繊維会社が出てきたこともあり、更に候補となる企業も募りつつ、今年度内に関心のある企業に対してオンラインセミナーにてモデルプロジェクトの内容を紹介し、事前準備等を依頼することを提案し了解されました。次回オンライン会議でその内容を討議し、来年2月にセミナーを実施の予定としました。

3. 次回オンライン会議：10月下旬としました。